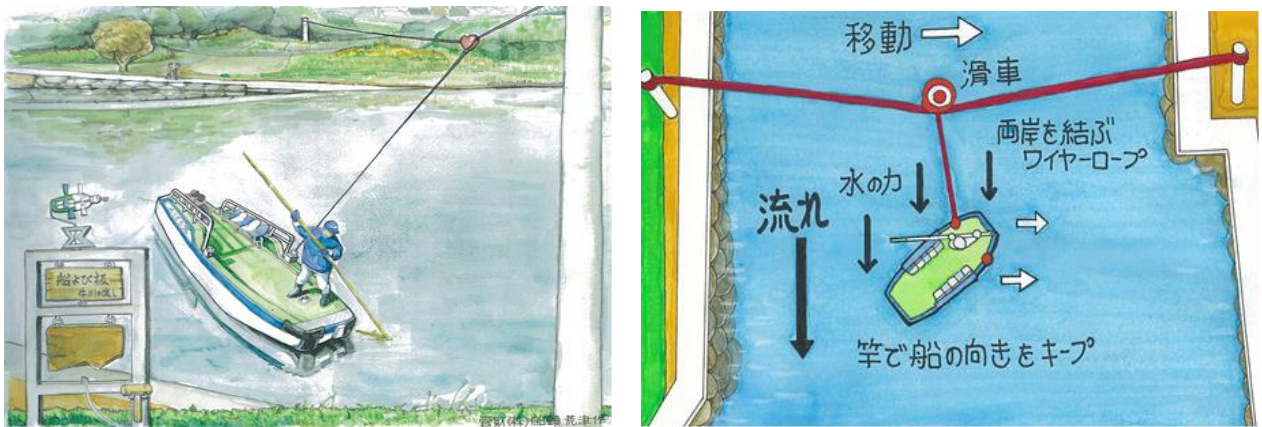


## 採船のしくみ



右岸（大村町）、左岸（牛川町）にワイヤーロープを張り、滑車と船を結びつけ、川の流れる力を利用して船を進めます。

## 船頭さんのひとこと



### 採

豊川の干満の差は2m弱もありますので、水深に応じて船の発進角度や着岸ポイントを決めたりするのですが、実は竹竿を刺すポイントは長年の経験によって決めているのですよ。

大雨の翌日など川の流れが急なときは、船が重く漕ぎ出しが大変ですが、高校生に「行ってきます。」と声をかけてもらおうと疲れも吹き飛びます。



### 竿

牛川の渡しは、全国でも珍しい手漕ぎの渡し船で、竹竿で川底を押して進む人力の船としては、愛知県内で唯一のもので学校の自然学習だけでなく、テレビ取材を受けることもあります。

無料で運航していますし、自転車も積めますので、お休みの日には、豊川の散策に親子連れで訪れていただければ、嬉しいです。